

第8回福岡市地下鉄七隈線建設技術専門委員会 議事要旨

○議 事

- 1 道路陥没部やトンネル坑内の現在の状況について
- 2 地質調査結果（中間報告）について
- 3 今後の進め方について
- 4 地盤改良について

○委員会での主な議論

1について

- ・道路陥没部やトンネル坑内の現在の状況について、事故発生時から現在までの地下水位や地表面の計測状況の報告があった。

2について

- ・地質調査結果（中間報告）について、これまでの地質調査により想定される陥没孔の形状や現地で実施した試験から得られた強度や水の通しやすさ等に関する報告があった。
- ・今回示された地盤の強度や透水係数の値等について、工学的評価については、これまでと同様の傾向であるとの意見が出ており、今後得られる地質調査のデータを揃えた上で再度討議することとなった。
- ・砂層と岩盤層の地下水の連続性について、引き続き慎重に確認を行い、今後の検討に反映していく。

3について

- ・今後の進め方について、地盤改良については、トンネル坑内の水抜きだけでなく、再掘削工法を踏まえた検討を行うこととした。
- ・大断面部の再掘削工法の検討については、現地状況を考慮すると開削工法での再開は厳しい等の意見が出された。開削工法・非開削工法それぞれのリスクを整理した上で、まずは非開削工法について検討を深め、再度、議論することとなった。

4について

- ・地盤改良工法や改良範囲を決定するための検討フロー等について意見交換をおこなった。
- ・非開削工法を行う上で、D2層上部の安全性の確保について、補助工法も含め対策を検討していくべきとの意見が出た。